

キャラクター名

Aspergillus oryzae

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー		ワークス	レネゲイトビーイングC	カヴァー	麴
	ソラリス					
オブショナル	オルクス		年齢	2000歳以上	性別	????
覚醒	無知	衝動	嫌悪		初期侵食率	35%
出自	最後の希望	経験	勧誘		邂逅	貸し

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	2	0	0			2	行動値	5
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	6
精神	2	1	2			5	戦闘移動	11
社会	4	0	0			4	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			R C	6		交渉	1	
回避			知覚	1		意志	2		調達	4	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
クリスタルシールド	白兵	2r-1	12	0		この武器を装備中ほかの武器を装備できない
ウェポンケース		0				オートアクションで武器を装備できる。
		0				
0-79		0				ガード値10+12 装甲12

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
	14	12	-1	-1	

所持品		合計装甲：	12	合計回避：	-1
		ロイス			
		対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス消費
		仲間	P 同情	N 不快感	
		勧誘者	P 感服	N 憐憫	
		谷修成	P 慕情	N 恥辱	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
		最大財産P:	16	残り財産P:	

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
コンセントレイト：ソラリス	2	2	メジャー			シンドローム	-	
効果：組み合わせた判定のC値を-[LV]する。								
ヒューマンズネイバー	1	-	常時	至近	自身	自動	RB	
効果：あなたはヒトではないが人と変わらぬ振る舞いができる。衝動判定のダイスを+LV個する。								
オリジン：コロニー	1	4	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果：あなたは森林、サンゴ礁など群体から成るレネゲイトビーイングだ。[暴走]以外のバッドステータスを消す。LV個のバステを消すか、シーン終了まで続く。								
炎陣	★	2	オート	-	自身	自動		
効果：ダメージロール直前に宣言。カバリングを行う。行動済にならず、行動済でも使用可能。								
氷盾	2	3	オート	至近	自身	自動	RB	
効果：ガード時に宣言。ガード中ガード値を+[LV×5]する。								
さらなる力	★	5	メジャー	至近	単体	RC	80↑	
効果：行動済の相手を未行動にする。1ラウンド1回まで。								
狂戦士	2	5	メジャー	視界	単体	RC	80↑	
効果：対象が次に行うメジャーアクションの判定のクリティカル値-1(下限6)、ダイス+[Lv*2]								
妖精の手	2	4	オート	視界	単体	自動	-	
効果：対象のダイスをひとつ10にする。								
細菌環境操作	★	-	メジャー	-	シーン	RC	-	
効果：細菌環境を操作する。酒なので。								
快楽の香気	★							
効果：吸っただけで人を恍惚とさせる物質を生成する。								
効果：								
効果：								
効果：								

ニホンコウジカビのレネゲイトビーイング。酒造神社に奉納されている瓢箪に息づく粧種。群体の一部が地酒の製造を行っている。総体として野望希望もなく、出歩くどころか言葉を発することも稀で脅威度は低いと思われるため、UGNにも「いるなあ」くらいで放置されている。

以下は神社に伝わる昔話の一節。

ある街道に鄙びたおんぼろの茶屋があった。
豪雨の日、その茶屋さえ満員になった夜更け、旅の僧が一夜の宿を求めた。
軒先でよいというのに、若い茶屋の店主は己の布団を貸し、汁を温め、自分は土間で寝た。
翌朝、僧は一宿一飯のお礼にと瓢箪を差し出した。
不思議なことに、その瓢箪に少しの米を入れれば香り立つ酒を無限に生み出すのだという。
店主はいぶかしく思いながらも受け取り、言われたとおりになると、確かに非常に芳しい酒が出来上がった。
たちまち酒は評判となり、おんぼろの茶屋は豪勢な宿に建て替えることができた。

数年ののち、また豪雨の夜に僧が通りかかると、店主はすぐに見つけ、豪華な客間に通し感謝を述べた。
驕らぬ姿勢に感銘を受けた僧は、次の礼はどうすべきか、何か困りごとはないかと店主に聞いた。
店主は、たびたびこのような豪雨が村々を襲い、時に家や畑が流されてしまうのだと言った。
僧は川の主が原因だと言い、あの時の瓢箪を貸してほしいと言った。
いったい何に使うのだらうと思いつながら、店主は何の不安もなく僧に壺を返した。

数日ののち、僧は「暴れ狂う川の主を鎮めた。もう大丈夫だ」と言って店主に瓢箪を返した。